報

官省院廳府縣

リ九月十日マテ諸官員暑中休暇ヲ賜リ候條（七月）第八拾四號達ノ通可心得此旨相達候事

六月二十日　太政大臣　三條實美

官省院廳東京府

十一日ヨリ九月十日マテ午前第八時出頭午前定候條此旨相達候事

六月二十日　太政大臣　三條實美

府縣東京府沖繩縣ヲ除ク

舍ヲ以テ証券印税規則改正相成本年七月一日ヨリ（拾圓）印紙及ビ異紙廢止セラレ候ニ付賣捌者ニ於テ購求不用ノ分ハ此際一時買上（賣捌者ハ手數料ヲ引去ル）府縣廳郡區役所現在譯表相添ヘ主税局ヘ還納スヘシ尤界紙ノ分及照會候迄留置預リ証書ヲ以テ一ヨリ何ヲ候儀ト可相心得此旨相達候事

十日已内適宜日數ヲ定メ管下ヘ布達シ右日内ニ整理還納スヘシ

六月二十日　大藏卿　松方正義

郡區役所　戸長役場

賭博犯ニ依リ懲罰ヲ受ケ右處分中ハ徴集者中常備年期ヲ經過スル者ハ年齢滿三拾二ハ出資ヲ爲スヲハト有之右雇人トハ傭主ル限ル儀ト心得ヘシ此旨相達候事

東京府知事芳川顯正代理

ヘキ儀ト可心得此旨相達候事

東京府知事芳川顯正代理

六月二十日　東京府大書記官銀林綱男

郡區役所

月）第六拾三號布告煙草税則第六條ニ家族

六月二十日　大藏卿　松方正義

郡區役所　戸長役場

拾九號

任

六月三十一日

歩兵大尉正七位勳五等　木村有恒
二等軍醫從七位　同　關口貞齋
同　横井俊藏
同　林　茂樹
同　長江　清人
同　天野　誠
同　丸山　直方
同　豊島　良仙
同　高峯　涼樹
同　荒牧　省吾
同　伴　熙
歩兵中尉從七位　伊津野千里
同　勳六等　村上　信一
同　平野　毅藏
同　平田　辰造
同　福崎　正名
同　藤村　忠誠
同　勳六等　宇都宮　九
同　尾上　貞固
同　富岡　孝元
同　門司和太郎
同　力石　知至
同　大谷　元忠
同　柴田　忠義
同　丸山　直寛
同　岩倉　具經
同　近藤　鎮三
同　曾尾　春
同　清水郁太郎

六月十九日

大藏少書記官正五位勳五等

任太政官權少書記官
任太政官權少書記官
任島根縣收税長

内務二等屬　岩野　新平
草野　宜隆
關　方高

時事新報

爆裂藥ハ歐米社會ノ難問題ナリ

文明駸々春色淒々國内戰亂ノ禍ナク又天災地殃ノ變ナシ億兆ノ人民鼓腹シテ正ニ太平ヲ樂ムハ目下歐米諸國ノ狀況ナリ此文明太平ノ日ニ當リテ彼ノ學者政治家ノ靈苟モ世ヲ憂ルノ心アル者ハ怏々トシテ尚ホ不際ノ色アルハ何ゾヤ蓋シ爆裂藥（ダイナマイト）ノ事其心ニ關スル所アレバナリ

「ダイナマイ」トハ「ナイトロ、グリセリン」ヲ「シリカ」土ニ浸シタルモノニテ其外貌赤茶色ノ砂糖ニ類ス「ナイトロ、グリセリン」トハ獸脂蠟燭ヲ製造スル時ノ附産物タル「グリセリン」「日本ノ坊間ニテ「リスリン」ト唱ヘ婦人ノ化粧ニ用フル水油）ニ硝酸ヲ調合シタルモノニシテ非常ニ爆發力アルヲハ久シク人ノ知ル所ニシテ往々岩石破碎等ノ用ニ供シ居タルナレモ水液ノ儘ニテハ運搬ノ際ナド摩擦又ハ衝動ノタメ動モスレバ爆裂ノ患アリテ其用甚タ廣カラザリシガ今ヨリ二十餘年前瑞西人ノーブル氏ガ此水液ヲ「シリカ」土ノ細粉ニ浸シテ一種ノ固形体トシ運搬取扱上ノ危險ヲ減シタル以來ハ其用頗ニ廣カリ鑛山、土木又ハ海陸ノ軍用ニ必要ノ品ト爲リタルノミナラズ其製造并ニ取扱ノ容易ナルヨリ尋常ノ人モ容易ニコレヲ使用シ遂ニ社會一般ノ人事ニ適用セントスルノ有樣ト爲リタリ是即チ目今其名ノ世界ニ喧シキ「ダイナマイト」ナルモノニシテ其爆發力ハ尋常ノ火藥ニ八倍シ用ヲ爲スヲモ大ナレバ隨テ害ヲ爲スヲモ甚タ大ニシテ歐米諸國ノ學者政治家ヲシテ憂苦正ニ措ク能ハザラシムル所以ナリ

今ノ文明ヲ趁フ人間社會現在ノ組織ハ其缺典尚ホ甚タ多ク決シテ完全ノモノト云フベカラズ隨テ社會到ル處ニ不平ノ徒多ク絶望ノ餘リ往々兇暴ノ手段ヲ用ヒテ社會ヲ擾亂スルノ例ニ乏シカラズ魯西亞ニ虛無黨アリ日耳曼墺地利ニ社會黨アリ英吉利ニ愛蘭黨アリ佛國西ニ共産黨アルノ類ハ最モ其著明ナルモノニシテ近來ハ此等ノ諸黨ヲ總稱シテ「ダイナマイト」黨ト唱ヘ其狂猛以テ兇暴ヲ止ムルニ足ルノミナラズ智勇ノ老成人モ爲メニ一驚ヲ喫シテ策ノ出ル所ヲ知ラザルノ趣アリ此等ノ不平黨輩ガ其兇暴ヲ恣ニセントスルノ意ハ決シテ今月今日ニ始マリタルニアラズ多年コレニ從事シテ止ム時ナカリシト雖モ唯其兇暴ノ特ニ今日ニ著明ナル所以ハ彼ノ爆裂藥ノ發明ノ爲メニ彼等兇徒ガ心ニ欲スル所ヲ事ニ施スノ便宜ヲ得タルガ爲メノミ前年佛西亞皇帝ノ獄難以來今日ニ至ルマデ魯獨墺英等ノ國々ニ於テ或ハ官吏ヲ殺シ或ハ政廳ヲ破壞シ或ハ鐵道ノ列車ヲ飛バシ或ハ市街ノ住家ヲ倒覆スル等暴動騷擾枚挙ニ遑アラズ人心恟々トシテ社會ノ治安遽ニ維持スベカラザルノ勢アルガ爲メニ歐洲諸國ノ政府ハコレヲ坐視スル能ハズ聯合警察法ヲ設ケ嚴密ニ爆裂藥ノ製造賣買ヲ監督シ以テ「ダイナマイト」黨ノ惡業ヲ遏止セントセリ是亦一應適當ノ防禦策ニシテ蓋當リ他ニ名案モナカルベシト雖モ更ニ一歩ヲ進メテ考察スルトキハ此防禦策ニシテ果シテ能ク其目的ヲ達シ得ベキヤ否ヤ甚タ不安心ナリ「ダイナマイト」ノ製造ハ甚タ容易ニシテ加フルニ文明諸國教育ノ洽ネキ全國ノ男女皆此製造人タルヲ得ルノ識慧アリ今此品ト此人トニ向ヒテ區々ノ取締法ノ能ク其取締ノ功ヲ奏シ得ベシト云ハントスルモ蓋シ一人トシテコレヲ信シコレニ安心スル者ハナカルベシ歐米ノ學者政治家ガ日夜其頭腦ヲ勞シテ憂苦措ク能ハザルハ實ニ尤モ千萬ノ事ト云フベキナリ

今ヤ歐米「ダイナマイト」黨ノ所業ヲ視ルニ其兇暴ハ固ヨリ甚タ兇暴ナリト雖モ然レモ其中尚ホ聊カ義心愛情ノ存スルモノアリテ強チニ唯兇暴是事ブト云フ程ニモアラズ言ハヾ虛喝以テ人ヲ恐怖セシメ由テ以テ己レガ他ノ慾ヲ達セントスルニ過ギザルガ如ク未ダ決シテ兇暴ノ極點ニ達シタルモノト云フベカラザルナリ幸ニシテ失望絶念ノ度尚ホ未ダ太ダ甚ダシカラズ僅ニ鬼面ヲ假リテ他ヲ恐嚇スルノ手段ニ由ルノ間ハ爆裂藥モ亦決シテ恐ルヽニ足ラズト雖モコハ唯敵ノ攻メザルヲ恃ムモノニシテ己レノ攻ムベカラザルヲ恃ムニアラザルガ故ニ唯一日姑息ノ餘安タルニ過ギズ爆裂藥ニシテ果シテ人情ノ境ヲ越エテ其働キヲ恣ニセンニハ天下能クコレニ當タル者ナカラン果シテコレニ當タルモノナケレバ目下人間社會ニ存在スル百般ノ組織ハ爆裂藥ノ一令ノ下ニ其舊慣ヲ改メザルヲ得ズ舊慣ヲ改ムルハ甚タ善シ然レモ獨リ甚タ憂フベキハ其改革ノ順序ヲ思フニ徐々其功ヲ収ムルニアラズシテ是非ナク急激ノ弊ニ陷ルベキハ必然ノ勢ナラン急激ノ變化ハ利害共ニ甚ダ大ニシテ爲メニ不幸ヲ被ル者甚ダ多數ナラン其狀況ハ固ヨリ今日ニ想像スベキニアラズ必ズヤ唯案外千萬ノ事ノミ多カラント思ハルヽナリ歐米ノ學者政治家ハ今ヤ正ニ「ダイナマイト」難問ノ局ニ當タル者ナリ知ラズ如何ノ方案ヲ以テ此至難ノ問題ヲ解カントスルカ

電報

○六月十八日龍動發　英佛兩政府ト蘇西運河ヲ向テ局外中立ヲ守ル可キ條約ヲ結定シタリトノ報アリ

雜報

○内閣出御　一昨日歸京セシ三條太政大臣ニハ昨日午前十時參内ノ上　天機ヲ伺ヒ夫ヨリ内閣ヘ出頭シ有栖川左府宮以下各參議ト會議ヲ開キタリ右ヨリ付　聖上ハ内閣ヘ出御ナシ〳〵テ親シク國事ヲ聞食サセ給ヒ正午時入御遊ハされ宮中ニ於テ大臣參議ヘ御陪食ヲ仰付ラレタル由ニ承ハル

○行啓　皇后宮ニハ昨日午後ヨリ青山御所内ノ養蠶所ヘ行啓在せられ女官所ノ養蠶ハ蠶事ヲ御覽遊ばされ夫ヨリ

○山縣内務卿　山縣内務卿ハ本月十四日兵庫縣廳、裁判所、税關、造船所及ビ諸所ヲ巡視ノ和歌山帆の和歌ノ

○西郷農商務卿　昨朝奇

陸軍卿ハ昨朝奇

横濱發ノ汽車ニ

○大山陸軍卿

皇后より寫見を

に記載せしが

たる由今其景況

に至りければ使

使等も先つ在り

む食卓裝飾頗ス

后とは向ひ合ヒ

軍卿と侍坐し、

て大山卿は次ア

諸將校交互に

是より兩島御

懇親を加へら

、一同最帶禮

大山卿以下一同

府外ヨ於て對

到る處優遇せら

如く勳章を授與

ガランクロワ

ガランクロワ

ガラントオヒシエー、

コンマンドルヒシエー、

オヒシエー、

シユバリエー、

シユバリエー、

○臨幸供奉　來

在せ給ム御兩

内卿、德大寺侍

侍醫書記官數十

○早蕨禮典侍

日廻町區有樂町

々の物品を拜覽

○留別宴　新任

出立する御會に

て賦歌以入ヶ

○軍事參議　軍

の沿海を巡視

舊國ノ政府ハコレヲ坐視スル能ハズ聯合警察法ヲ設ケ

曩ニ二十日大御卿

護野公使及ビ侍